

平成三十一年度

高等学校入学者選抜学力検査問題

国語

注意事項

- 一 問題は、一ページから七ページまであります。
- 二 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

— 次の文章には、小学生の「ぼく」が、音楽担当の深沢ミオ先生と歌のレッスンを重ねて、音楽の時間の発表会で歌ったときのこと書かれている。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(13点)

(有吉玉青「ありよしたまお シュルツセル」による。)

(注) ① 全音階で、ある音から八番目の音。

② やや強く。

問一 二重傍線(=)部②のひらがなを漢字に直し、③の漢字に読みがなをつけなさい。

問二 本文中の④で示した部分には、「ぼく」の心の状態を印象的に表現するための工夫がある。次のア～エの中から、④における、表現上の工夫と「ぼく」の心の状態を説明したものとして、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 聞いている人たちの様子を淡々と並べ、「ぼく」が周りから孤立していることを強調する。

イ 心の中の言葉を短い文でつなげ、「ぼく」の気持ちが高まっ
ていくことを表す。

ウ 周囲の静けさを描写することによって、「ぼく」が発表会の
雰囲気圧倒されていることを暗示する。

エ 周りの状況を詳しく表現することで、「ぼく」の気持ちが落
ち着いていくことを示す。

問三 傍線部1と傍線部4から、「ぼく」が深沢先生の気持ちをうかがっていることが分かる。「ぼく」が深沢先生の気持ちをうかがっているのは、どのようなことになることを心配しているからか。本文中の言葉を用いて書きなさい。

問四 次のア～エの中から、傍線部2が表す「ぼく」の様子として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 悲しみにうちひしがれている様子

イ 気持ちを明るく弾ませている様子

ウ 事情がみこめずぼんやりしている様子

エ 自分自身を誇らしく思っている様子

問五 次のア～エの中から、傍線部3のように「ぼく」が感じた深沢先生の行為として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「ぼく」のことを褒めてくれたみんなの意見に同意したこと。

イ 緊張していた「ぼく」を落ち着かせたこと。

ウ 「ぼく」についての自由な発言をみんなにさせ始めたこと。

エ 「ぼく」の失敗にみんなの目を向けさせる発言をしたこと。

問六 深沢先生が最後まで歌いきった「ぼく」を褒め、傍線部5のように述べたのは、「ぼく」をはじめとしたクラス全員にどのようなことを伝えたかったからか。先生が傍線部5のように述べるものになった先生自身の行動を含めて、六十字程度で書きなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。なお、文章中の [1] ～ [12] は、段落を示す番号である。(15点)



(稲垣栄洋^{ひでひろ}『雑草はなぜそこに生えているのか』による。)

(注) ① 車が通りすぎた後に残る車輪の跡。

② 中国での名称。

③ 液が外ににじみ出ること。

問一 二重傍線(=)部^あ、^えのひらがなを漢字に直し、^い、^うの漢字に読みがなをつけなさい。

問二 波線(〰)部^ア、^オの中には、品詞の分類からみて同じものがある。それは、どれとどれか。記号で答えなさい。

問三 本文には、オオバコの種子が持つ粘着物質の本来の機能について述べた一文がある。その一文の、最初の五字を抜き出しなさい。

問四 筆者は、傍線(――)部がオオバコにとってどのような意味であるかを、本文の^①、^③の段落で述べている。その意味を、「逆境」と「プラス」の内容が分かるように、簡単に書きなさい。

問五 本文の^⑧と^⑨の段落は、文章の構成上、どのような役割を持っているか。その役割を説明したものとして、最も適切なものを、次の^ア、^イの中から一つ選び、記号で答えなさい。

^ア ^⑥の段落と対比した内容を示し、問題を提起している。

^イ ^⑦の段落の内容を、例を付け加えて言い換えている。

^ウ ^⑩の段落の結論を、理由とともに先に述べている。

^エ ^⑫の段落で結論を述べるため、仮説を立てて説明している。

問六 筆者は本文を通して、植物が種子を遠くへ運ばなければならぬ理由を二つ述べている。その二つの理由を、それぞれの内容が分かるように、六十字程度で書きなさい。

三 次の文章は、学年で実施した宿泊研修について、あなたが学年集会で発表するための原稿である。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(9点)

みなさんは、宿泊研修のテーマを覚えていますか。それは「¹宿泊研修を通して、みんなが一つになる。」でした。このテーマのもとで私が体験したことを二つ話します。

一つは、ウォークラリーです。地図をもとに山の中や湖のほとり、つり橋を通過してゴールを目指しました。私は地図を読み取ることが苦手なため、一人では迷ってしまったと思います。しかし、班員と力を合わせることで、ゴールまでたどり着くことができました。その間、いろいろな会話をしたことで、班員のみなさん²とお互いの考えや気持ち³が一致して、打ち解けることができました。

もう一つは、キャンプファイヤーです。クラスごとに、劇や合唱などの出しものを披露しました。私のクラスではダンスを披露することになったのですが、曲や振り付けについて、なかなか意見がまとまらず、時間だけが過ぎていきました。それでも、クラスに合ったものをみんなで考え、意見を出し合うことで、徐々に形になっていきました。全体の構成を決める際には、先生が³助言⁴をしてくれて、まとまっていきました。そして、本番では、息の合ったダンスを披露できました。キャンプファイヤーの最後には、全員が輪になって炎を囲み、歌を歌いました。暗闇の中、月明かりと星空の下で揺れる炎。⁴幻想的な光景は私の心を奪いました。

私は、この二つの体験を通して、みんなが一つになるためには、¹「¹が大切だ」ということを学びました。このことを忘れず、今後の学校生活を充実したものにしていきます。以上で発表を終わります。ありがとうございます。

問一 傍線部1を聞き手である生徒に伝えるときに、注意すべきことを考えた。次のア～エの中から、注意すべきこととして、適切でないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 聞き取りやすいように、はっきりとした口調で読む。

イ 明確に伝わるように、前後に間を取って読む。

ウ 端的に伝えるために、できるだけ早口で読む。

エ 理解できるように、意味によるまとまりで区切って読む。

問二 傍線部2を簡潔に表すために、四字熟語を使った表現にしたい。

傍線部2と同じ意味になる四字熟語を使った表現として、最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 試行錯誤する

イ 有言実行する

ウ 意気投合する

エ 一刀両断する

問三 傍線部3の中の「くれて」を、「先生」に対する敬意を表す表現にしたい。「くれて」を敬意を表す表現に言い換え、傍線部3を書き直しなさい。

問四 傍線部4を、「私は」を主語にした一文に書き直しなさい。

問五 あなたは、二つの体験を通して学んだことを、原稿の「¹」に入れたいと考えている。原稿の「¹」の中に入る適切な言葉を考えて、七字以内で書きなさい。

四 次の文章には、豊臣秀吉が、飼い慣らした鷹たかを使って鳥などを捕らえ

させる鷹狩りを行ったときのこと書かれている。この文章を読んで、
あとの問いに答えなさい。(7点)

(浅井了意『浮世物語』による。)

(注) ① 手助けをする別の鷹。

② 獲物に引きずられるのを防ぐために、鷹が片足でつかむ草。

③ 鷹の脚の後ろ側にある、闘争用の鋭い突起。

④ 鷹を飼育・訓練して鷹狩りに従う役人。

問一 二重傍線(=)部を、現代かなづかいで書きなさい。

問二 波線(〰)部ア、オの中から、その主語に当たるものが同じであるものを二つ選び、記号で答えなさい。

問三 傍線(—)部は、秀吉の行動に対する筆者の感想である。これについて、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 次のア、エの中から、秀吉の行動として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 鶴を捕らえて戻ってきた鷹を、自分の手に動かないように置いて、なでてかわいがったこと。

イ 鷹匠が、蹴爪を傷つけた者の名前を言おうとしたのを、他の者に気づかれないように止めたこと。

ウ 鷹狩りに出かけて、最初から最後まで家来の力を借りないで、自分の力でやり遂げたこと。

エ 鷹匠を自分の前に呼びつけて、鷹狩りの失敗の原因を考えさせ、責任を取らせたこと。

(2) 筆者は、秀吉の行動にはどのような考えがあったと述べているか。秀吉の「大いに怒り」の理由を含めて、簡単に書きなさい。

五

あなたのクラスでは、国語の授業で、次の の中の標語が紹介された。あなたは、この標語から、どのようなことを考えるか。あなたが考えたことを、あなたが体験したことや学んだことなど、身近なところにある事柄と関連させて書きなさい。ただし、次の条件1、2にしたがうこと。(6点)

条件1 一マス目から書き始め、段落は設けないこと。

条件2 字数は、百五十字以上、百八十字以内とすること。

(厚生労働省「平成二十四年度 児童福祉週間」標語による。)

平成三十一年度 高等学校入学者選抜

作文問題

一 私の親しい友人

二 私が好きな言葉

三 私がめざしていること

四 中学校時代をふりかえって

五 大人になるということ